

プログラム名 (40字以内)	ふじのくにの里山 - 植物と昆虫のつながり		
団体名/所属	認定特定非営利活動法人アースウォッチ・ジャパン		
活動区分	ボランティアなどの社会貢献活動, 農林水産業などに関わる地域体験活動, フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	2人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	安全に配慮してフィールドワークを楽しむこと。専門的な知識やスキルは不要です。		
活動期間	2026/9/5(土)～9/6(日)	主な活動予定場所	静岡県静岡市
プログラム実施の目的	<p>私たちの周りは、様々な生物であふれています。深山や密林にでかけなくても、身近な自然のなかにたくさんの生物がくらしています。このプログラムでは、静岡市とその周辺にある里山の植物や昆虫及びそれらの関りについて調査します。一見何の変哲もないように見える都市近郊の自然のなかにも、まだよく分かっていない「もの」(生物)や「こと」(関係性)があふれています。地域の生物多様性は、長い地史的な時間と有史以来の人と自然の関りの中で形づくられてきました。生物多様性を理解するためには、「どんな生物がすんでいるのか」ということと、「生物たちがどのように関わりあっているのか」を知ることが重要です。調査やレクチャーを通じて、身近な自然環境にひろがる生き物の多様性を把握し、里山に生息する植物と昆虫の関わり合いや保全について学び、地方都市の身近な自然環境の現状と将来のリスクについて考えていきます。</p>		
具体的な内容(800字程度)	<p>虫網や吸虫管、ビーティング(木の枝などを棒で叩いて、落下した昆虫をネットで採集する方法)にて数十種類の昆虫を採集します。採集した昆虫やトラップで捕獲された昆虫を、図鑑などで種類等を調べ記録し、標本を作成します。</p> <p>日中は昼行性の昆虫の調査を、夜間はライトトラップを使って夜間に活動する昆虫を観察します。普段、見ることの少ない夜の昆虫の姿を観察できます。昆虫を分類学上の目や科に仕分ける作業などを通じて、これまで見えていなかった昆虫の多様性を実感することができます。</p> <p>調査に先立ち、調査方法はお教えますので特別な知識や技能は不要です。調査後には里山環境の変遷や生物多様性に関するレクチャーを行います。詳しくはプログラム解説書をご覧ください。</p> <p><調査プログラム解説書 2025(参考)> https://www.earthwatch.jp/doc/briefings/briefing_fujimuseum_2025.pdf</p>		
【総額】参加するための費用	約30,000円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	自身で用意する宿泊施設にかかる費用 ※静岡駅周辺が便利です		
【内訳】参加するための費用(交通費)	<p>自宅から調査地までの往復交通費 <参考> ・東京駅—静岡駅(新幹線) ・静岡駅前—ふじのくに地球環境史ミュージアム(バス) 往復 約12,000円～13,000円</p> <p>※利用時期・予約条件・経路により金額は変動します。</p>		
【内訳】参加するための費用(その他)	参加費:3,000円 食事代:5,000円程度		
奨励金額(予定)	15,900円		
備考	プログラム概要 https://www.earthwatch.jp/?product=fujimuseum		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	過去の調査報告は、こちらからご覧いただけます。 https://www.earthwatch.jp/annual_report/		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体が応募の場合)	https://www.earthwatch.jp		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加しない		